

目指す学校像	安全かつ安心して学び生活できる学校・学ぶ喜びを実感できる学校・生徒や保護者。地域から信頼され、愛される学校
--------	---

重点目標	1 教育DXによる学びの自律と個別最適化の推進 2 安心・安全な施設、環境整備の促進 3 保護者、地域に信頼される学校づくり (コミュニティ・スクール) の推進 4 組織的な生徒指導・教育相談体制の充実
------	--

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学 校 自 己 評 価							学校運営協議会による評価		
年 度 目 標			年 度 評 価				実施日令和 年 月 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	(現状) ・学校は全体として落ち着いており、生徒は授業規律を守り、真面目に学習に取り組んでいる。 ・R3全国学力・学習状況調査では、国語・算数共に全国平均を上回る結果となった。 ・中学校区での合同研修会も昨年はオンライン、今年は対面で行うことができた。 (課題) ・学力の高い生徒がいる一方、基礎学力が定着していない生徒への基礎学力向上をどうしたらよいか。 ・授業におけるICT活用のさらなる推進。 ・小中の連携をどう深めていけばよいか。	・学びの自律化に向けた情報端末の活用、授業改善 ・学ぶ意欲を高めるための授業実践と、基礎学力の定着と向上	①Teamsを活用した課題提出や、スタディ・サブリなどを効果的に授業等で活用する。 ②情報端末を用いた授業を積極的に推進し、小中でも成果の共有を行う。	・小中合同研修会でICT活用について事例研究を行うことができたか。 ・日常的に情報端末を効果的に扱い、ICTを活用した研究授業を年1回以上行うことができたか。					
2	(現状) ・全体としては、施設はきれいで環境が整っている。改修後のトイレも、明るく清潔感があり、生徒も丁寧に使用している。 ・小さなゴミ箱の使用や、換気対策など、コロナ対策を積極的に行っている。 ・ハナミズキ委員会を通し、いじめのない学校づくりを目指し、活動している。 (課題) ・体育館、昇降口の雨漏り。 ・校庭と給食室を隔てるフェンスが低く、危険なので、対策を講じる必要がある。	・安全点検に基づく安全な施設管理及び迅速な対応 ・安心・安全な学校づくりに主体的に取り組む生徒の育成	①毎月の安全点検を確実に実施し、修繕整備が必要な場合は、教育委員会にも要望し、迅速に対応する。 ①青少年赤十字に新規加入する。 ②委員会活動を中心としたSDGsを意識した取組を行う。 ③1年総合の時間で地域防災学習を行い、防災マップを作り意識を高める。 ④ハナミズキ委員会の実施。	・学校評価に係る保護者アンケートで、「学校はよく環境整備がされてきている」という項目の肯定的評価が85%以上になったか。(前年86%) ・具体的方策に掲げた4項目をすべて実行できたか。					
3	(現状) ・昨年、学校運営協議会準備委員会を立ち上げ、生徒の育てたい力などを熟議し、地域で協働できることは何か考えることができた。 ・コロナ対策で、授業や行事など、満身に保護者に参観してもらうことができなかった。 (課題) ・今年度、学校運営協議会発足を受け、さらに保護者・地域・学校と熟議を重ね、一体となって具体的方策の一步を踏み出す。 ・保護者への教育活動の積極的開示。	・地域が一体となって取り組む、生徒の自律につながる取組の充実 ・感染症対策を講じた上での授業公開、学校行事の積極的実施	①写生会など、地域ボランティアの積極的な活用を行う。 ②生徒による公民館でのボランティア活動を実施する。 ③地域ボランティア清掃の実施。 ①コロナの状況に柔軟に対応した授業参観、懇談会、学校行事の実施。 ②ドローンを活用した体育祭の撮影と保護者会等での公開。 ③より分かりやすく情報が見えるような学校ホームページの刷新。	・地域ボランティアの活用や、生徒のボランティア活動を実施することができたか。 ・学校評価に係る保護者アンケート「連絡を密に行い親切に情報を提供している」という項目の肯定的評価85%以上になったか。(前年69%)					
4	(現状) ・全体的に、生徒は、素直で、あいさつもしっかりできています。生徒指導における暴力や器物損壊などの事案はほぼ見られない。 ・若い教員も多く、熱心に教育活動を行っている反面、経験が不足している点は否めない。 (課題) ・人間関係などの理由で、悩み、学校に足が向かなくなったり、相談室登校を行なったりしている生徒も少なくない。 ・SNSトラブル、悪口いやがらせなどのいじめ問題は、少数ではあるが毎年発生している。 ・生徒指導、教育相談におけるスキル向上や、組織的対応をどう高めていこうか。	・教職員の生徒指導、教育相談スキルの向上と組織的対応の充実	①「学年1クラス」という意識の徹底。 ②積極的な生徒指導の推進。 ③生徒指導部会、教育相談部会の充実と組織的対応(迅速、誠実、丁寧な対応)。 ④生徒の心理的安全性の確保。(不登校を作らない学年、学級経営、部活動) ⑤特別な支援を必要とする生徒への対応の充実。 ⑥家庭との綿密な連携、初期対応。 ⑦学習室の整備。 ⑧道徳の時間の確保、充実。	・学校評価に係る生徒アンケートで、「悩みや相談に応じてくれる」という項目に「そう思う」と回答した生徒の割合が60%以上になったか。(前年59%) ・学校評価に係る保護者アンケートで、「学校や教職員の指導を信頼できる」という項目で、肯定的評価85%以上になったか。(前年80%)					